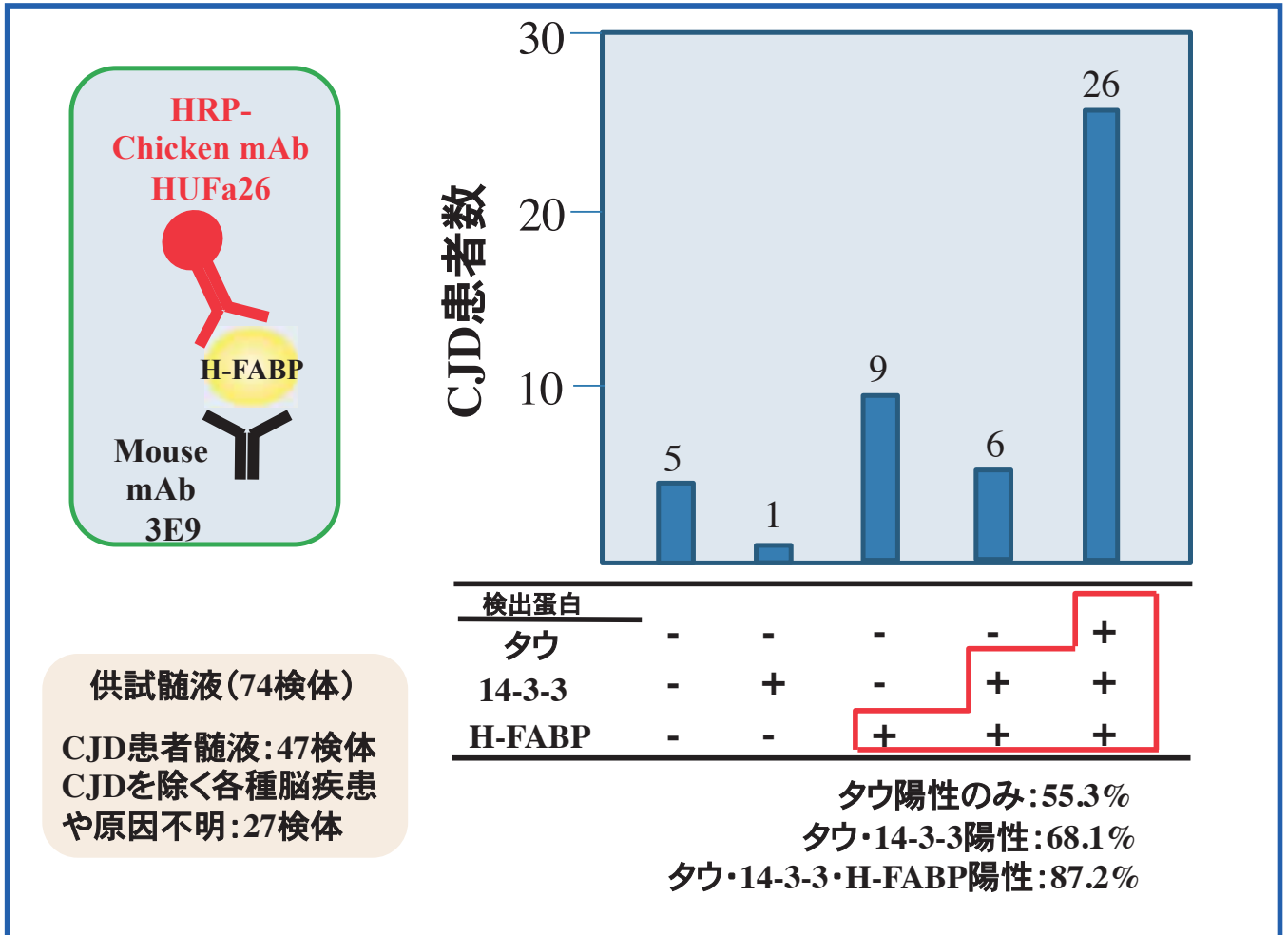


CJDにおける髄液H-FABP検査の有用性

研究分担者: 広島大学大学院生物圏科学研究科 松田治男



解説

1. CJD患者髄液(47検体)を含む計74検体の髄液を検体として、本研究で構築した高感度H-FABP検出系をタウ蛋白検出および14-3-3蛋白検出と比較した。
2. 上記の図にある通り、タウ・14-3-3・H-FABPの3マーカーの検出が最も高精度にCJDを診断できる可能性を示唆している。